

ライフプラン教育の充実にもむけて

人生100年時代を自分らしく生きていくために、職業、家族観、生きがい、暮らす場所などの将来像を描いたものをライフプランといいます。

高校生が、生涯を見通したライフプランを考えることは、人生の可能性をさらに広げることに繋がります。

人生の可能性を拓く



地域の未来を創る

「とやまの高校生 ライフプランガイド —未来をクリエイトしよう!—」の活用

目次

はじめに	1
① これからの私	3
② 自分らしく働く	5
③ お金のきほんを学ぼう	7
④ ライフスタイルを選ぶ	9
⑤ 私のセクシュアリティ	11
⑥ パートナーとともに生きる	13
⑦ 親になること	15
⑧ 子どもとともに育ち合う	17
⑨ 地域の子育てサポーター	19
⑩ いきいき生きる	21
⑪ 暮らしたいまちを創る	23
ライフプランを描こう	25
おわりに	26



4 ライフスタイルを選ぶ

あなたの家族は？と聞かれたら、誰を思い浮かべるだろうか。家族は多様化し、その見方は人によって様々である。人とのつながりをどのように築き、仕事、家庭生活、自分らしく過ごす時間をどう費やさせていきたいのかを考えてみよう。

1 いろいろな暮らし方

- シングル**
独居生活のメリットに気づいてる人も増えています。
- シェアハウス**
最近よく聞かれています。同じ世代で毎日交流しています。
- パートナーと2人**
このから先ずっと、2人の時間を大切にしていきたいです。
- 親と子**
子どもが成長して、親の心も成長していきます。
- 夫婦と犬**
犬も家族の大切な存在です。
- 同性のカップルと子**
子育てできるのは、誰にだってできることです。大切な時間を大切にしたいです。
- スタッフファミリー**
両方をして新しい家族になりました。
- 祖父母と子**
祖父母のサポートが、子育てをサポートします。
- 大家族**
いろいろな家族の形があります。子どもが成長して、家族の絆が深まっています。
- 祖父母と近所**
新しい生活を大切にしながら、祖父母のサポートが大切です。

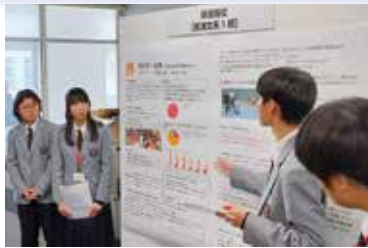
2 自分自身のウェルビーイングに向き合う

図表4-1 将来大切にしたいこと (複数回答)

項目	割合
健康で長生きすること	70%
家族と幸せに暮らすこと	65%
自分らしく生きること	55%
地域で活躍すること	45%
収入を増やすこと	35%
趣味や特技を伸ばすこと	25%
海外で暮らすこと	15%

※調査は、県と暮らしたいですが、暮らし方や家族のカタチは様々ですが、あなたにとって大切な家族の形を思い浮かべてください。

ライフプラン教育から 探究的な学びへ



性別や年齢等に関わらない 多様な生き方の視点から 令和5年に全面改訂

- 「お金のきほん」、「ライフスタイル」、「セクシュアリティ」のページを追加
- 富山のデータを掲載し、ライフイベントをたどりながら、未来の自分について考えを深められるページ構成

ライフデザインセミナー

- 【講師】
- ・ Uターンして富山で起業した方
 - ・ いきいきと地域で活躍する高齢者
 - ・ 富山の特色ある企業の人事担当者
 - ・ ボランティア活動のネットワークを形成している方 等

講師の方の声

講師として話し、高校生の思いを聞く中で、生徒諸君の向上心を感じ、心強く思いました。常に前向きに挑戦して、悔いのない人生を送ってほしいです。



自分らしい生き方を実践している地域の方を講師に招き、ライフプランを主体的に考えるきっかけとします。



高校生の感想

- 「全ての人に可能性がある」と言われたことに心打たれました。
- 僕も、自分の人生を堂々と語れるような生き方がしたいです。
- 定年は人生の第一線を退くことなく、そこからまた始まるのだと思いました。

命の輝き（産婦人科医等に聞く）特別授業



産婦人科医等の専門家から、妊娠出産に関する正しい知識を学びます。



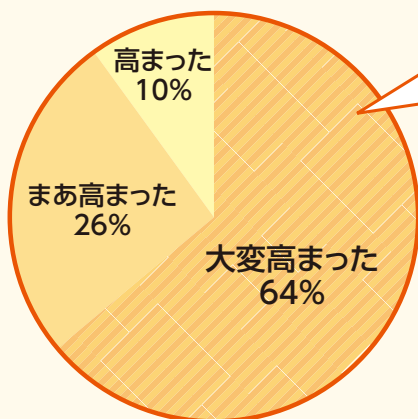
高校生の感想

- 自分のことも相手のことも大切にしなければならぬと思いました。
- 妊娠・出産はいつでもできるわけではないと知り驚きました。
- 一人で悩まず、まわりの人に相談することが大切だとわかりました。

赤ちゃんふれあい体験

学校等に赤ちゃんと保護者を招き、子育ての楽しさや命の尊さを学びます。

子育てに関する理解が高まったか



100%の生徒が「子育てに関する理解が高まった」と回答

- ・大変高まった
- ・まあ高まった
- ・高まった
- ・あまり高まらなかった
- ・高まらなかった

から回答

県立T高校1年生159名（R元 調査）

【実施校数】R5：17校 1,737名参加



高校生の感想

- 赤ちゃんは、家族の幸せが一層深まる大切な存在であると感じました。将来、自分に子どもが授かったら、責任をもって育てていきたいです。
- 小さな命の重みを感じました。自分も周囲の人たちから大事に育てられたということがわかり、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。



卒業生の声

高校生の時、赤ちゃんふれあい授業でまず思ったのは「かわいい、自分も親になりたい」でした。お母さんの話を聞いて、親になることは覚悟が必要なこと、そして夫婦で協力していくことが大事なのだと思いました。

だから自分が実際に親になった時、少しでもママの助けになろうと努力できました。育児は聞いていた話より何倍も大変ですが、それ以上に嬉しいことがたくさんあります。

子育て支援センターの方の声

参加された方からは、「高校生と交流ができて、私も子どもも楽しい時間を過ごせた」「自分の子育てを振り返る良い機会となった」という声が、よく聞かれます。

（1児の父 小矢部市在住）

保育体験

- 乳幼児の心身の発達や集団保育の役割について学びます。
- 子どもが、生活と遊びの中で人との関わりを通して育つことを理解します。



高校生の感想

- 遊びを通して、子どもたちの協調性や集中力、創造性の高さに驚きました。保育士の方は、子ども一人一人の性格を理解し、同時に複数の子どもたちのお世話をされていて、すごいと思いました。今回の経験で学んだことを生かし、保育士を目指して頑張りたいです。
- 子どもが苦手で、最初はあまり気が進みませんでした。慣れてくると園児の方からたくさん話しかけてくれて、思いがけず楽しい時間になりました。子どもは素直でかわいらしく、それぞれ個性をもっているということがわかりました。

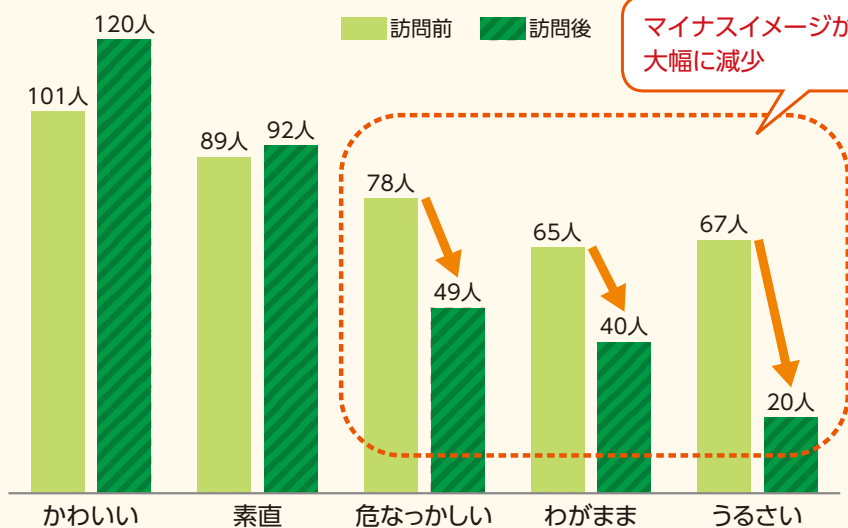
【実施校数】R5：21校 1,779名参加



保育園の方の声

核家族化や少子化が進む現在、高校生とふれあう体験は園児にとっても大変貴重なものとなり、いつもとは違う一面も発見することができました。このような体験の場を提供し、次代を担う子どもたちを共に見守っていきたいと思います。

訪問前後の乳幼児に対するイメージの変化



マイナスイメージが大幅に減少

県立T高校1年生157名 (R元 調査)



卒業生の声

(3児の母 南砺市在住)

高校の家庭科の授業で、お腹の中の赤ちゃんの動画を見たときのことが今でも印象に残っています。私は、赤ちゃんや保育所の子どもたちとのふれあいから、子どもに関心を持ち、保育士の道に進むことを決めました。

問い合わせ先 ▶ 富山県教育委員会県立学校課 TEL 076-444-3450